



進化する計画表

講師の出勤シフト表を兼ねている、日本国際ボランティアセンター発行の「世界の子もたちの笑顔カレンダー」も残り1枚となりました。中1・中2の皆さんはすべての中学で中間テストが終わり、ちょっと一息というところですが、今の学校の授業ペースでいくと期末テストの範囲がとて広くなりそうです。この傾向は新しい教科書に変わってからますます顕著になっています。今春、ある中学では2年になってからも1年の理科の教科書の続きをやっていて、そのところが2年の前期中間テストにも出たというおかしなことがおきました。やはり計画的に学習していくことが大切です。少なくとも中学高校の皆さんは自分で計画を立てて準備を進めていかないとあとで慌てることになりますよ。

さて、入試が迫ってきたこの時期に中3の何人かが「受験に向けて家で何をしたらいいのかわからない。夏休み前にもらったスケジュール表と同じものを早くちょうだい！」と言い出しています。まあやる気があるのは結構なのですが、ちょっと待てよという気がします。現在の高校3年生が中3の時に、自分なりの計画を立てられない人が増えてきたため作り始め、それ以来毎年受験生一人ひとりに渡すようになった受験勉強計画表。受験生の不安をやわらげる目的もあるのですが、「これって過保護かも？」とも思います。だからせめてそれをもとに自分なりのものにしてほしいのです。ポイントは3つ、「追加でやるべきことを決めたら書き足す」「計画を変更したらすぐ書く」「毎日一度は表を見て、実行できたかどうかを記録する」を心がけてください。そのように対応しながら質を高めていくのが進化する計画表です。

考えてみれば、社会に出てからとても重要になってくるタイムマネージメントを初めて真剣に意識できるのが中学3年生の時期なのではないでしょうか。この経験は決して無駄にはなりません。それも自分で考え、自分で修正し、自分で実行できたのなら文句なし。

実は、大人になってもなかなか難しいことなんですけど…。